

会 議 録（案）

環境審議会事前資料 1 平成 28 年 2 月 10 日

会議の名称	平成27年度 第1回環境審議会
開催日時	平成27年8月5日(水) 午後2時から3時まで
開催場所	エコプラザ西東京 講座室1
出席者	【委員】 勝村委員、伊藤委員、伊藤委員、加納委員、田中委員、石崎委員、小野委員、川崎委員、渡邊委員 【事務局】 松川みどり環境部長、田中環境保全課長、安島環境保全課主幹、貫井主任、本谷主事 【傍聴人】 0名
議題	1 開会 2 議題 (1) 平成26年度第2回審議会会議録（案）の確認について (2) 第2次環境基本計画における重点プロジェクト進捗状況報告について (3) 西東京市マネジメントシステム運用状況報告について (4) 西東京市地球温暖化対策実行計画（後期計画）策定の状況報告について (5) その他 3 閉会
会議資料の名称	資料1 平成26年度第2回環境審議会会議録（案） 資料2 重点プロジェクト1「育てよう、いろんな生物がいる自然！」 資料3 現地予備更新審査報告書
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
会 議 内 容	
1 開会 2 議事 <議題：(1) 平成26年度第2回審議会会議録（案）の確認について> ・ 事務局より説明（資料1の説明） ・ 一同了承 <議題：(2) 第2次環境基本計画における重点プロジェクト進捗状況報告について>	

- ・ 事務局より説明（資料２の説明）

○委員

- ・ 情報員システムというのは、仮称であるか。

○事務局

- ・ 仮称である。

○委員

- ・ 情報員の市内の地区の割振等は検討しているのか。

○事務局

- ・ 情報員の地区の割振等は検討していない。

○会長

- ・ 情報員という限られた人が参加するシステムであるのか、または、いつでもホームページ等から投稿できるシステムであるのか。

○事務局

- ・ 環境保全推進協議会では公募により情報員を任命するというご提案であったが、任命形式によらず広く投稿を求める方式も可能である。

○委員

SNSを活用するのであれば、情報員という特定の人だけではなく、多くの人ができるようなシステムの方が、街に興味を持ってもらえて良いのではないか。

○会長

- ・ 気象庁でも類似のシステムがあり、友の会や応援団というような組織もある。また、民間団体では、写真を撮影し投稿してもらうようなシステムもある。情報員システムは効果的であると考えているが、運営にかかる労力も想定される。

○委員

- ・ 実態調査というプロジェクトはおもしろいと思う。
- ・ 調査をすると、昆虫等が減っていることが明らかになるかもしれないが、生物を増やすような取組については、何か検討するのか。

○事務局

- ・ 実態調査の結果をどのように展開するかについては、今後の推進協議会で検討する。

○委員

- ・ 調査の対象としては、動物だけではなく、植物を中心にしても良いのではないか。

○会長

- ・ まずは調査員システムを運用し、工夫しながらシステムを改善していけば良いだろう

う。多くの人に参加できるものが良いと思う。

○委員

- ・ 実施場所は、小学校の方が組織的に調査することが可能ではないか。

○委員

- ・ 学校でも一定程度のものはできるので、学校との調整は可能である。
- ・ 情報員システムのような仕組みであれば、「西東京市の環境」に類似の記入ができるページがあると良いだろう。

○委員

- ・ 実施場所に東大農場は入るのか。生態系として豊かであるのでご協力いただけると良いのではないか。

○事務局

- ・ 実施場所についても、今後の環境保全推進協議会において協議する。

○会長

- ・ 重点プロジェクト3について、何か質疑はあるか。
- ・ 家族構成、住宅の種類による標準的な使用量を示すのは、難しいと思うが、知りたいという意見が出るのも確かである。

○事務局

- ・ 省エネの取組度合がわかるような数値の提示ができるように工夫する。

<議題：（3）西東京市マネジメントシステム運用状況報告について>

- ・ 事務局より説明（資料3の説明）

○会長

- ・ 資料3にある「エコ探求シート」「エコオフィス活動」とはどのようなものであるのか。
- ・ 審査では、紙の使用量について指摘されているようであるが、市役所としてはどのように受け止めているか。

○事務局

- ・ 「エコ探求シート」とは、所属の事務事業の現状や課題・問題点を把握、整理し、その上で課題・問題点を改善するための環境目標を検討するための様式である。
- ・ 「エコオフィス活動」とは、電気・ガス・水道やごみの削減等オフィスにおける環境負荷の低減を進める取組のことを言う。
- ・ 紙の使用量が増加したことについては、平成25年度に各部署で計画策定事業が実施されたことも影響している。裏紙の利用やPCでの情報共有などに努め、紙の有効的な利用に取り組む。

○会長

- ・ 市の会議ではタブレット端末を利用しているのか。

○事務局

- ・ タブレット端末を利用した会議は試行実施のみである。

○委員

- ・ タブレット端末の利用が進まない原因は何であるのか。

○事務局

- ・ 原因としては、タブレット端末の操作に不慣れであることがある。議会への導入の計画はあるので、導入に向けた環境作りが必要である。

○会長

- ・ 民間事業者のペーパーレス化は、どのようなものであるのか。

○委員

- ・ ペーパーレスという考え方はあるが、進んでいないのが現状である。新紙の量を減らす取組はしており、パソコン持ち込みの会議やプロジェクターを利用した会議を行っている。

○委員

- ・ タブレット端末を利用しており、操作も難しいものではないが、活用はなぜ進まないのか。

○委員

- ・ タブレット端末の操作が会議になじまない点や、パソコンが既にあるので2台目としてタブレット端末を導入できない点がある。

○委員

- ・ 民間事業者としては、設備投資にかけられないこともある。

○委員

- ・ 小学校では、タブレット端末は導入しているのか。

○委員

- ・ 学校職場での紙の使用については、教育用パソコンと事務用のパソコンがあり、事務用のパソコンでは、連絡事項はパソコンで共有するようにしている。
- ・ タブレット端末については、ICT教育の研究のために9月から市内小学校3校に40台ずつ貸与されるが、研究目的での貸与であり、セキュリティやネット環境の関係からも全員配布は難しいのが現状である。

<議題：（４）西東京市地球温暖化対策実行計画（後期計画）策定の状況報告について>

○事務局

- ・ 「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、「西東京市第二次地球温暖化対策

実行計画」を平成 23 年 3 月に策定し運用しているところであるが、社会経済情勢や環境行政を取り巻く環境等の変化に対応するため、計画の見直し作業を実施している。

- ・ 策定期間は本年度末を予定しており、次回本審議会にて報告をする。

○会長

- ・ 平成 23 年 3 月に策定した現行計画は、何年計画であったか。

○事務局

- ・ 10 年計画であり、今年は 5 年目である。

○会長

- ・ 前期は、順調であったか。

○事務局

- ・ 策定直後に東日本大震災があり、温室効果ガスの排出係数が増えたことから、二酸化炭素排出量は増加している。
- ・ 目標の見直しも含めて具体的な検討を進める。

○会長

- ・ 温室効果ガスの排出係数が増えたことで、より一段と取り組まなければ二酸化炭素の削減は難しい。

○事務局

- ・ 再生可能エネルギーの導入や PPS（特定規模電気事業者）の活用等抑制するための努力をしていきたい。

○委員

- ・ 電気が占める割合はどの程度であるか。

○事務局

- ・ 約 9 割を占める。

○委員

- ・ PPS は安定供給であるのか。

○事務局

- ・ PPS は、送電線網などのインフラは地域電力会社のものを利用するので安定的に供給される。

<議題：(5)その他>

○事務局

- ・ 第 2 回は、来年 2 月頃を予定している。

3 閉会

○会長

- ・ 本日の環境審議会は以上で終了する。

以上